

# 各地で指導と改定情報

## 情報提供の煩雑化が懸念

11月28日

北河内・大阪市東部・  
大阪市南部地区合同

北河内・大阪市東部・  
大阪市南部地区合同

大阪市南部地区は合同で、オータムセミナー「次期診療報酬改定のゆくえと個別指導」をOMM会議室で開いた。18人が参加した。講師は、吉田裕志副理事長と玉川明弘社保研究部員。

くする理由から、図示や図説を盛り込むなど情報提供の煩雑化が懸念されることを紹介した。

玉川氏はテキスト「個別指導対策と日常のカルテの書き方注意点」を用いて解説。新規個別指導を受ける際の準備や、指導に対応するカルテの書き方、また近畿厚生局に移管後の最新の個別指導状況などを述べた。

小山榮三理事・相談役があいさつし、協会が取り組む会員署名への協力を求めた。

11月11日

堺・高石・和泉地区

堺・高石・和泉地区は地区講習会「どう変わる個別指導」09年度計画から見えるもの」を堺市民会館で開き、25人が参加した。講師は、山上紘志協会副理事長、兵頭正道社保研究部員。

どを解説した。その中で、「指導」は、任意の同意によって成立する行政指導で、行政手続法の制限を受けると強調した。

また、厚生局は指導計画の中で、昨年度実績の15倍を超える個別指導（新規開業を除く）を予定しているが、事務官1

人の増員では物理的に困難。技官などの増員か、指導方式の変更が必要になる。協会はその動向を注視していると述べた。

## 無法な侵略戦争を考える

### 「アメリカは市民も殺す」と西谷氏

おわさか医科・歯科九条の会と保険医協会反核平和委員会は「南京大虐殺からイラク戦争まで無法な侵略戦争を考える」学習会を11月3日、M&Dホールで開き、医療従事者ら64人が参加した。

第一部では、西谷文和氏（ジャーナリスト、イラクの子供を救う会代表）がイラク・アフガニスタンから持ち帰った映像を用いて現地情勢を報告。国連もNGOも入っていない避難民キャンプの状況、空爆や自爆テロが相次ぐような状況に対して西谷氏は「アメリカはタリバンも市民も関係なく殺す」と述べた。

また、厚生局は指導計画の中で、昨年度実績の15倍を超える個別指導（新規開業を除く）を予定しているが、事務官1人の増員では物理的に困難。技官などの増員か、指導方式の変更が必要になる。協会はその動向を注視していると述べた。

第二部は映画「南京」引き裂かれた記憶」上映会を開いた。上映に先立ち解説した松岡環氏（日中平和研究会代表）は、

小学校教諭時代の「子どもたちに南京で何があったか伝えたい」という思いが活動の原点、映画製作にあたっては、日本の侵略戦争や南京大虐殺の問題を取り上げようとする必ず妨害にあうと述べた。映画は被害者・加害者一人ひとりの証言を符号させることで真実を明らかにするという形式で、強姦・放火・銃殺などの虐殺の生々しい様子が語られていた。

参加者からは、「私達日本人はもっともっとイラク、アフガニスタンの人たちの事をよく知ることが大切だ」という声もあつた」といった声もあつていった。

吉田氏は、中協協の最新資料をもとに次期診療報酬改定について解説した。「患者の視点に立った歯科医療」は、歯科疾患や義歯の管理に係る情報提供をより分かりやすく



次期改定の動向を解説する吉田氏(左)=11月28日、大阪市内



協会の個別指導における成果などを指摘する兵頭氏=11月11日、堺市内



おわさか医科・歯科九条の会

## 生涯研修講座 新春特別講演抄録

# メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病 (再掲)

西村 英紀氏 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科健康増進歯学教授)



一言前(と言っても私)がまだ、小中学校生のころ、(までは虫歯と

近視が日本人の国民病であると考えられていました。今や21世紀の

国民病は糖尿病であると言われています。この背景にはライフスタイルの急速な欧米化(交通手段の発達と食生活に占める脂質の摂取量の増加)が関与すると考えられています。

もう(と言われてきました。さらに、糖尿病に密接に関連した肥満も歯周病の危険因子であると考えられるようになりました。つまり、今風に言えば増え続けているメタボリックシンドローム患者の多くは歯周病を発症していると考えなければいけません。

歯周病はこれまで、糖尿病の6番目の合併症(5大合併症ではないので併発症と言っ

ています)と言われてきました。さらに、慢性炎症として糖尿病の血糖コントロールに影響を与える、あるいは心筋梗塞のもととなる動脈硬化の進展に影響を及ぼす可能性があるとの仮説のもと、検討を加えてまいりました。もしそれが本当なら、今後の歯科医療の価値がさらに高まるか

らです。事実、「健康日本21」の中でも歯周病は糖尿病や肥満と並んで、早世や障害につながる危険因子として列挙されています。

このたびの講演では、まずメタボリックシンドロームと歯周病は本当に関連するのか、そうであればその関係はどのようなものなのかについて私がこれまで行ってきた研究の一端をご紹介します。今後の歯科医療には何が必要なのかについて皆様と一緒に考えてみたいと思います。

## 保団連「若手のつどい」に参加して 日常診療の悩みなど交流

西成区・寺嶋洋幸

保団連の「若手医師・歯科医師のつどい」が11月22・23日、熊本県・阿蘇で開かれ、30協会から82人が集い、学び交流した。

つどいは、「水俣の歴史」と「レセプトオンライン請求」の2つ



82人が学ぶ講演会(11月23日、熊本県)

の講演と、①勤務医部会の活動②保険でより良い歯科医療③個別指導訴訟④レセプトオンライン請求⑤など、7協会から取り組みが報告された。講演の一つである「水俣病被害の歴史」で原田正純氏(熊本学園大学教授)は、「患者たちは昼から雨戸を閉めて隠れるように住んでいた。病気の悲惨さに加え貧困と差別に大きなショックを受けた」と当時の訪問調査の状況を語り、環境汚染と食物連鎖による間接的中毒であることを明らかにされ、感銘を受けた講演であった。

懇親会では、各地の先生方から保険医運動への思いや期待、日常診療の悩みなどが交流でき、大変参考になった。他科の先生方とも親しくなることができ、また一歩保団連とも近づけることができ、有意義なつどいであった。最後になるが、実行委員の先生方には大変お世話になり感謝したい。

# 求人 ハーモニックにおまかせ下さい

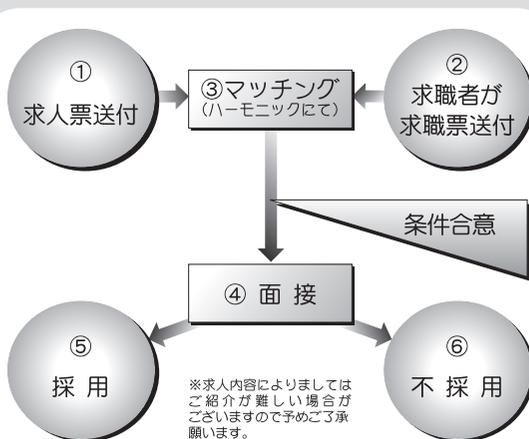
歯科医師 衛生士 助手 技工士

## 優秀な人材をご紹介します

常勤、アルバイト、パートに関わらず人材採用のお手伝いをさせていただきます。弊社にて事前に面接済の求職者の中からご希望の条件と合う方を探し、ご紹介致します。



ホームページ <http://harmonic-net.co.jp>



24時間受付 お気軽にお電話下さい

株式会社 ハーモニック (和田精密グループ)

フリーコール 1-800-111-4510  
TEL 0800-111-4510  
FAX 06-6393-3232

e-mail: info@harmonic-net.co.jp

担当: 市場 532-0002 大阪府淀川区東三国1丁目12-15 辻本ビル7F  
有料職業紹介業 27-ユ-300406  
一般労働者派遣業 監27-060054